

釜石市復興まちづくり懇談会  
説明資料(東部地域)

2011.8.7  
釜石市

## 1. 目的

- ・ 土地利用の案を、地域の皆様に見ていただき、ご意見をいただくことを目的にしています。
- ・ 9月末に公表予定の「釜石復興まちづくり計画」へ反映していきます。

## 2. 本日の進め方

- ・ 全体説明
- ・ テーブルワーク(グループに分かれて)
- ・ グループ発表
- ・ まとめ



(1) 短期間で生業と生活を立て直す

(2) もともとの社会問題に立ち向かう

(3) 段階的に復興に取り組む



## (1) 短期間で生業と生活を立て直す

長期に渡る復興に向けては、被災から一日も早い回復を図ることが大切です。

- ・ 支援から自立へ、生活再建に向けた支援
- ・ 生業の再生は、地域経済再生の足がかり。  
産業、商業、漁業を営む基盤を仮設で復旧



## (2) もともとの社会問題に立ち向かう

社会問題：少子高齢化、人口減少、産業空洞化、雇用縮小‥

（元に戻すだけでは、解決できない‥）

将来に渡って、持続可能な新しい社会を目指す。

そのためには、

地域資源を見つめなおし、生業・生活に活かす。

ex. 地場産品、地産地消の仕組み、エコツーリズム、

海と山に囲まれた美しい景観

人に優しい空間をつくる。

災害に強い安心できる都市をつくる。



## (3) 段階的に復興に取り組む 本格復興に向けては、過渡期が必要。

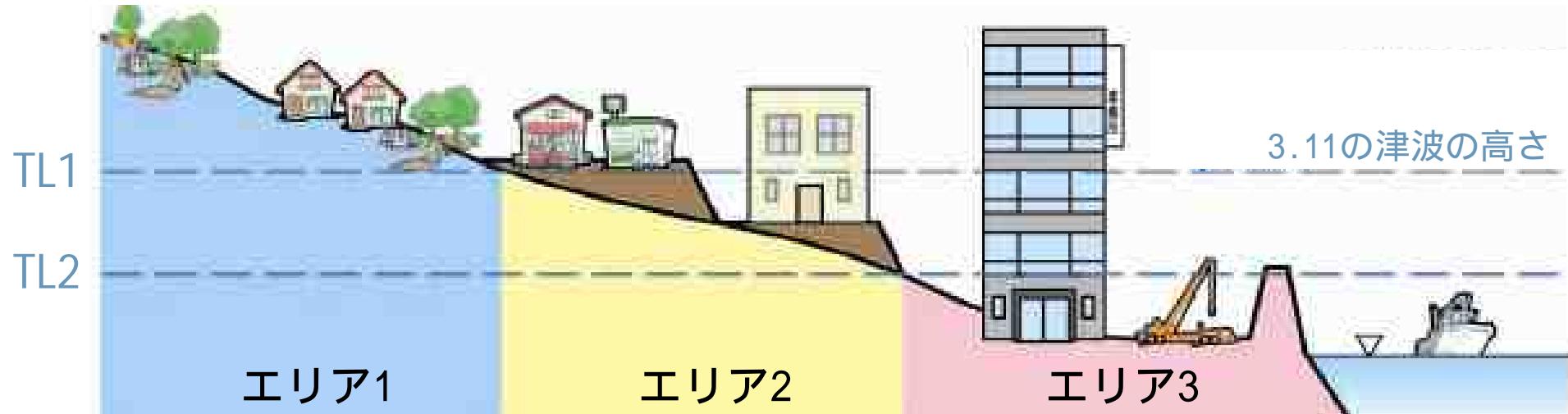


・基盤となる生活の再建  
・計画→設計→実施→維持管理

- ・まず、まちづくりの基本的な方針を定めます。  
(復興過程を通じて…)
- ・復興に向けては、十分な時間が必要で、  
住民の話し合いを基本に、皆でじっくり相談する。  
仮設住宅で、まちづくり協議会などを設立



- ・ エリア1：今回の津波の高さより高い場所
- ・ エリア2：現状の防潮堤より高い場所
- ・ エリア3：現状の防潮堤より低い場所



TL : 津波の高さのこと(Tsunami Levelの簡略表記)

TL1 : 既存の防潮堤高(既往最大の明治三陸沖地震による津波高を想定)

TL2 : 東北地方太平洋沖地震による津波高



- ・ 東部地域の大部分がエリア3になっています。
- ・ 中番庫は防潮堤より高い位置にあり、第3の防御施設として期待できます。しかし、側面から津波が流れ込む構造になっています。



( 1 ) 商業、商店街の活性化

( 2 ) 産業、港の再建

( 3 ) 居住、復興住宅の確保

( 4 ) 空き地(未利用地)の活用

( 5 ) 釜石らしい景観の保全

( 6 ) 歴史的環境の活用



## (1) 商業、商店街の活性化

商店街は集約化しつつ、町(コミュニティ)単位の再生を基本とします。段階的な復興、取組み、また、商店街の枠を越えた話し合いが必要です。

- ・賑わい拠点を面的に展開し、集客性と回遊性の向上
- ・拠点となる津波避難ビルの設置(街の避難路)
- ・避難経路、避難場所の周知の徹底
- ・未利用地の緑化推進



## (2) 産業、港の再建

主要な産業が集まる港付近は、活動の早期再建を目指します。

- ・ 水産業・加工業…現位置付近での復旧を支援
- ・ 魚河岸の再生…集客拠点整備(フィッシャーマンズワーフ)
- ・ 湾口防波堤の復旧、水際線対策(防潮堤、水門整備)
- ・ 海の避難路…魚河岸、埠頭に津波避難ビルを設置



## (3) 居住、復興住宅の確保

津波の恐れの少ない安全な居住地を確保します。

- ・ 津波で残った高所の住宅市街地の拡張
- ・ 釜石小釜石第一中学校跡地、大町駐車場等の利用  
(復興集合住宅の整備)
- ・ エリア2の土地は、盛土、もしくは、中層階以上の居住により、  
安全を確保
- ・ 盛土ガイドラインの作成 ex. 歩ける斜面緑地など
- ・ 地域ごとに避難経路、避難場所の確保



## (4) 空き地(未利用地)の活用

天王山などの自然と連続した緑のネットワークを街へ広げます。

- ・空き地を集約化、連續化による緑道、避難道の形成
- ・空き地の地下貯留施設や雨水浸透による内水問題の緩和
- ・既存の銭箱澤軸(縦動線)を活用



## (5) 釜石らしい景観の保全

港町らしい景観：坂道、山、海、路地、文化遺産、祭などは、住民の心のよりどころです。

- ・ 景観資源の指定、眺望点の指定
- ・ 盛り土、宅地造成のガイドライン作成、景観法の対応など
- ・ 瓦礫撤去、海際の枯れ杉の撤去など、釜石らしい景観を取り戻すプロジェクト



## ( 6 ) 歴史的環境の活用

これまでの文化、歴史的環境を活かしたまちづくりを行い、生活、生業、観光等に活用します。

- ・ 天王山、浜町、狐崎城、銭箱澤の筋：  
新しい観光資源(眺望景観・自然環境など)  
避難場所としての利用  
震災祈念碑等の施設設置等
- ・ 埠頭、中番庫、製鐵所、埋蔵鉄道施設、製鉄所桟橋  
産業遺産を活かしたツーリズム  
製鉄所関連の近代化遺産マップを作成  
(避難場所・避難経路の追加　日常化)



## 中心街の現状 - 東部地域

16



**第1案：商業業務エリアを大町に集約案**

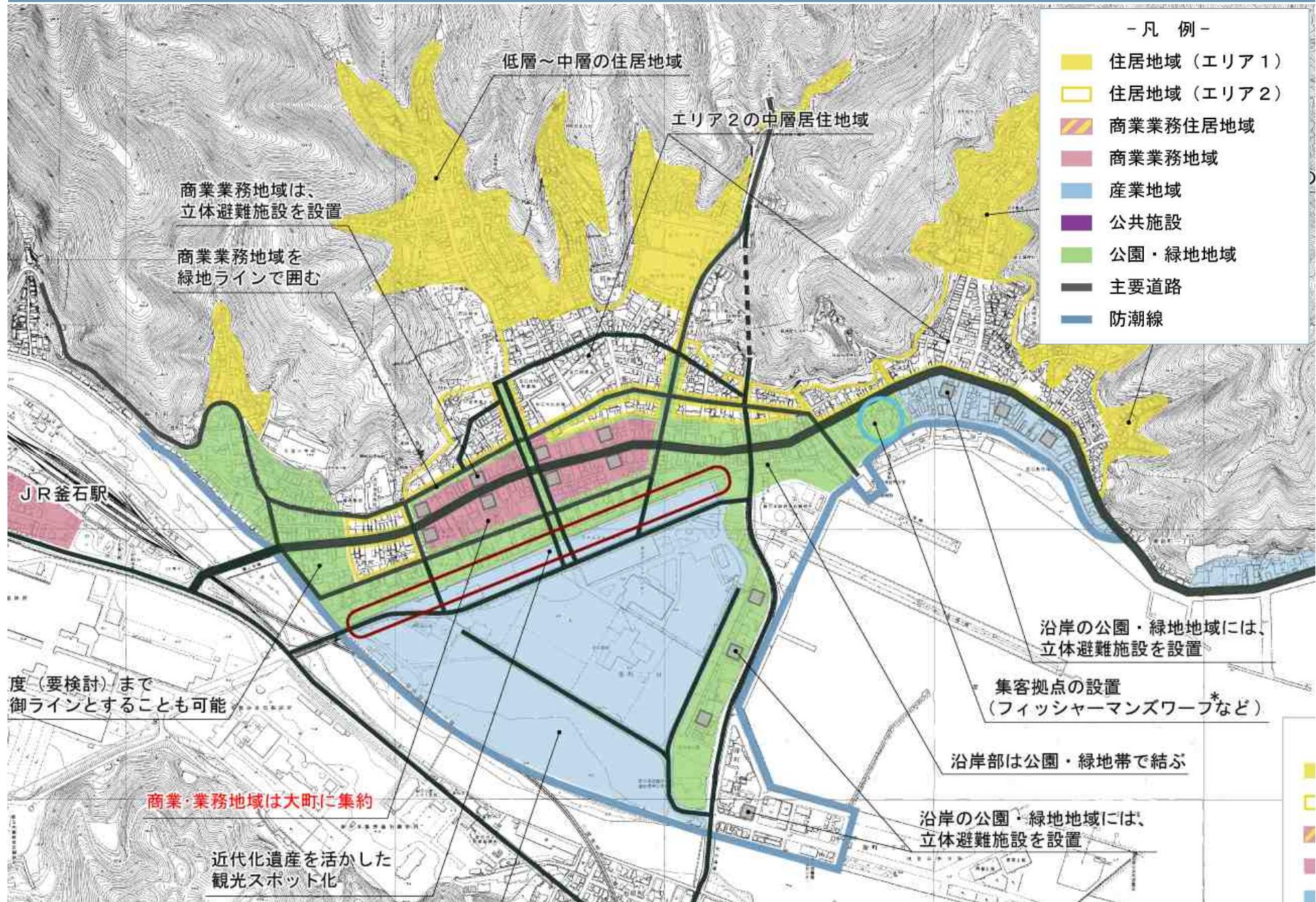
**第2案：商業業務エリアを釜石駅方面に拡張案**

**第3案：商業業務エリアを官庁街方面に拡張案**



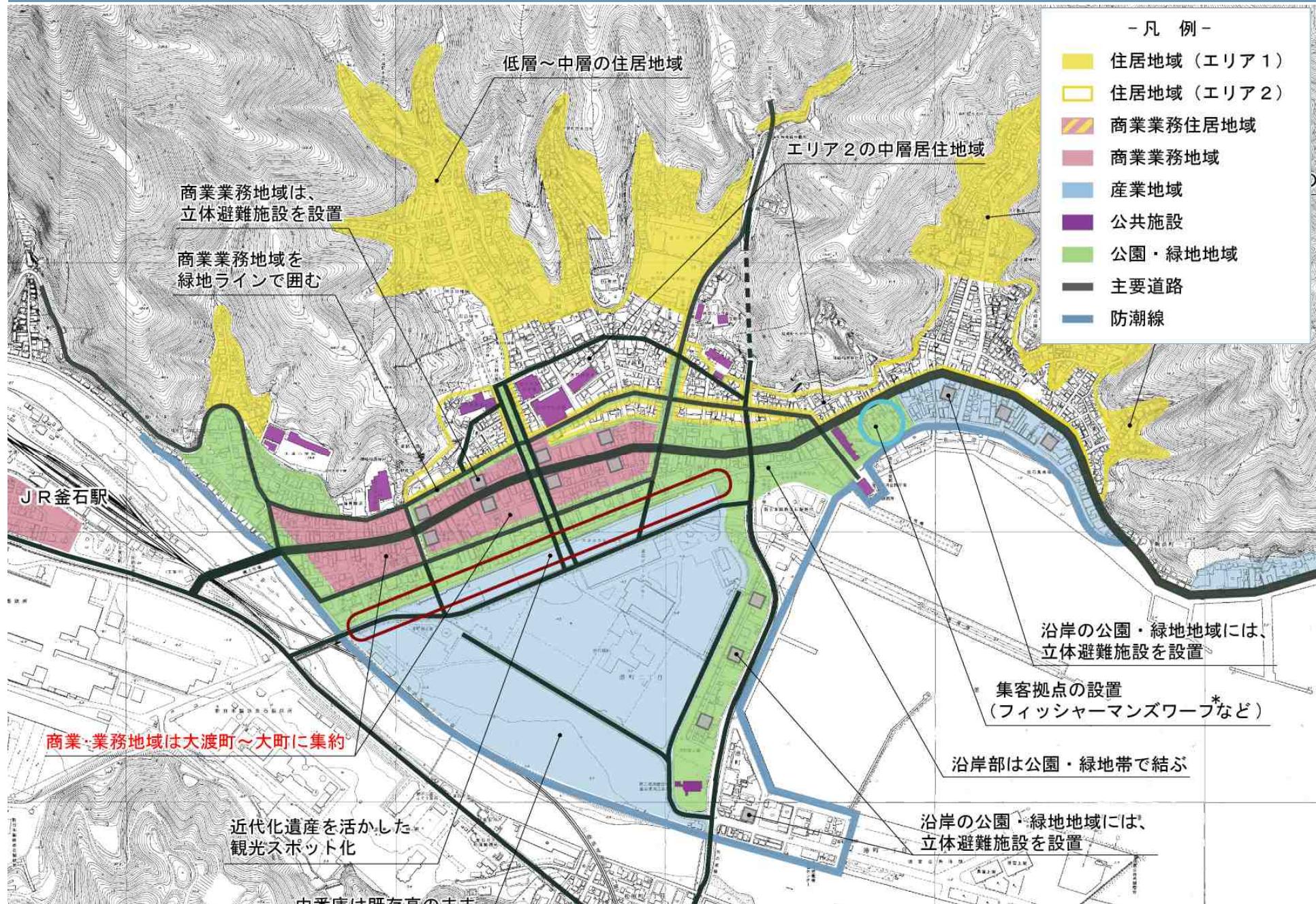
# 第1案：商業業務エリアを大町に集約案

18



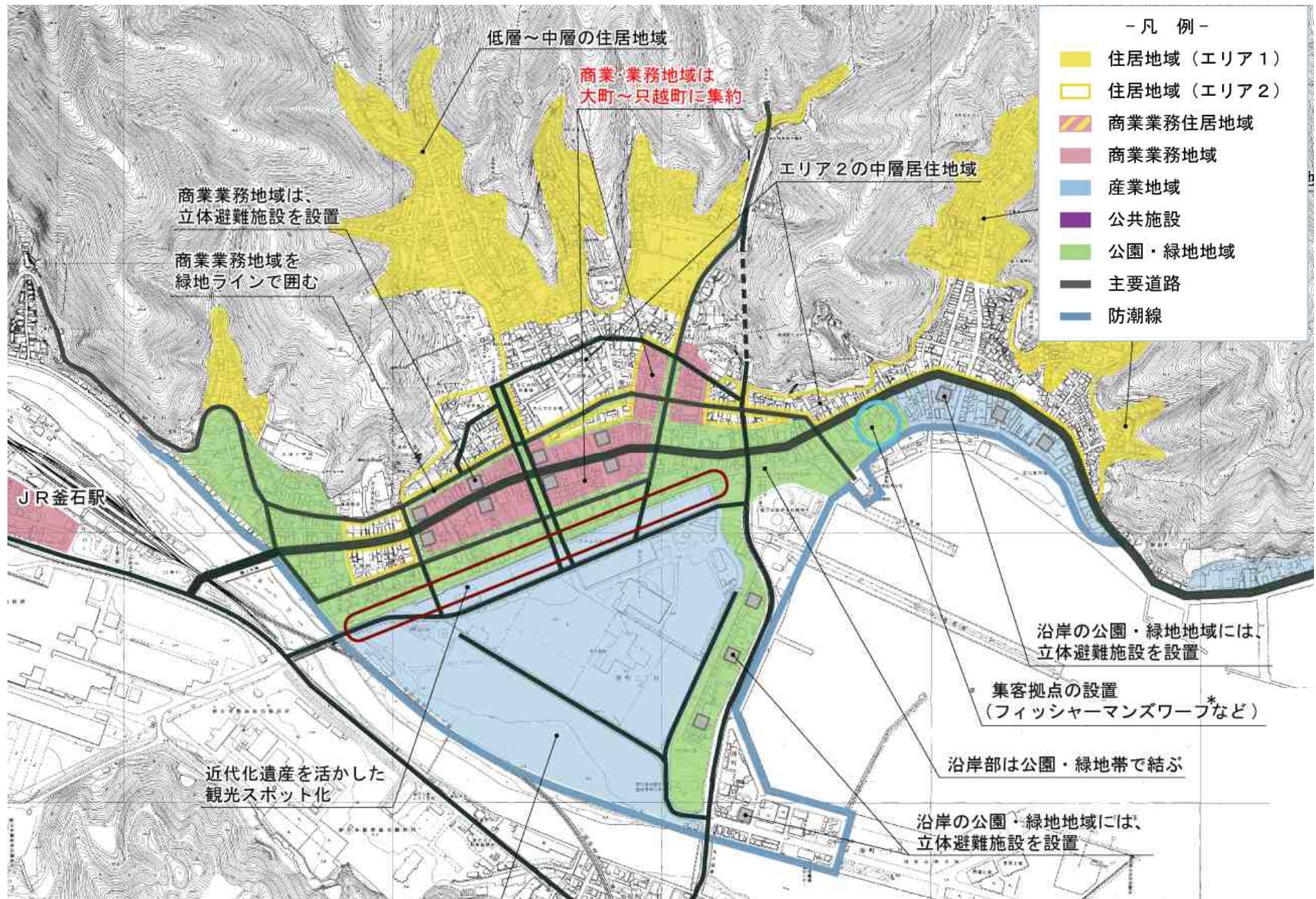
## 第2案：商業業務エリアを釜石駅方面に拡張案

19



# 第3案：商業業務エリアを官庁街方面に拡張案

20



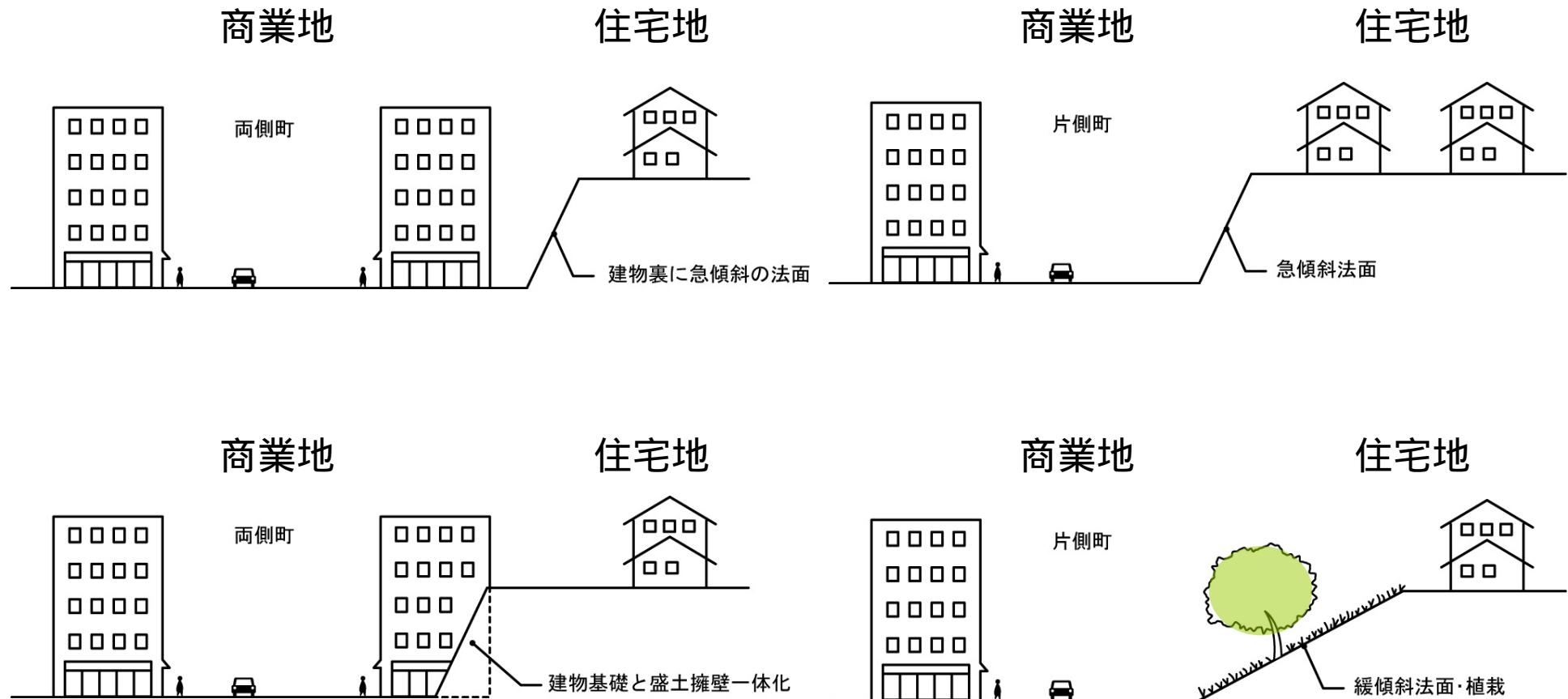
## 1. 土地利用に対する方向性

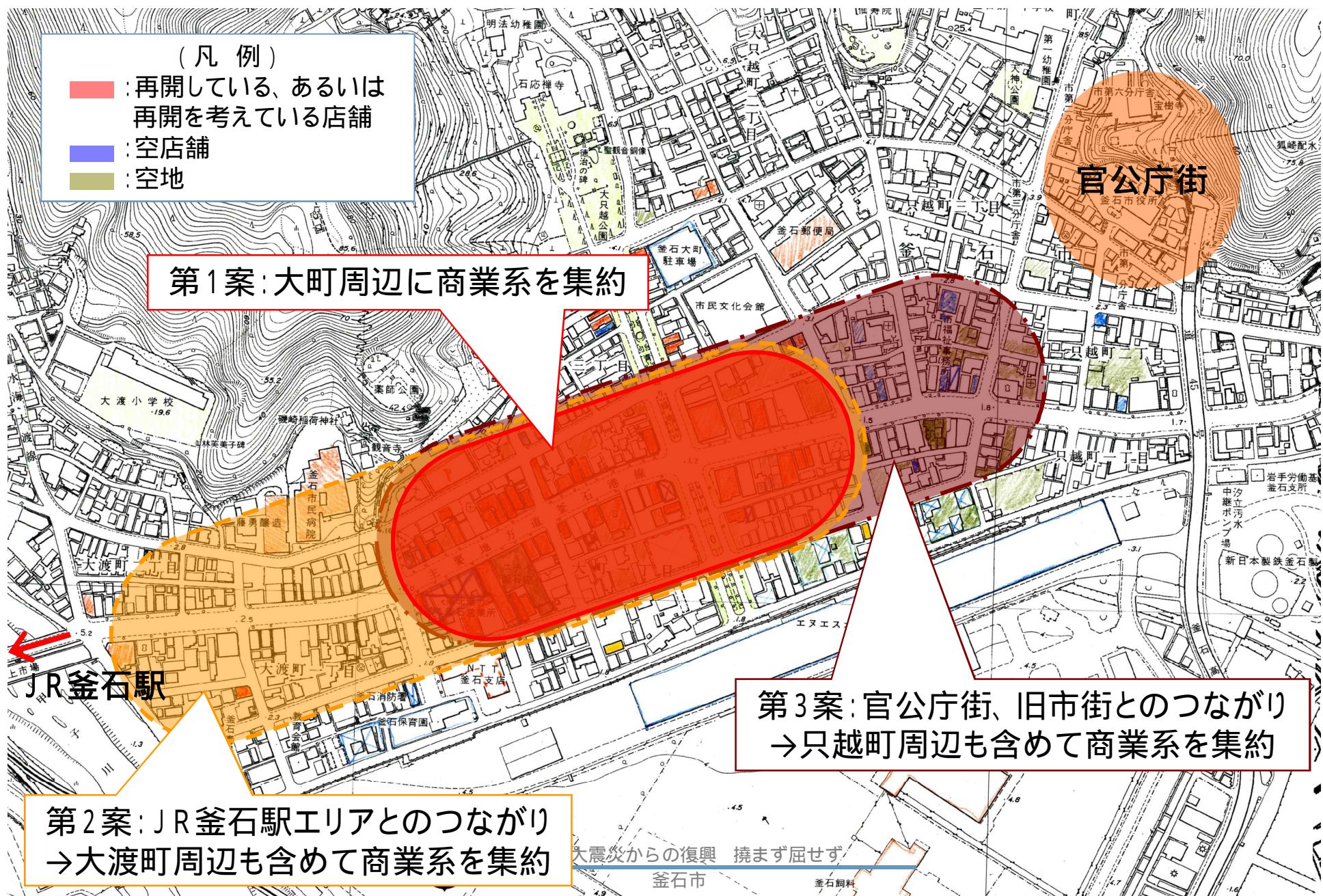
- ・住居地域と商業地域
- ・盛土するか、構造物で対応するか？

## 2. 安全性に対する方向性

- ・どの程度の津波に耐えられるべきか？  
(どの程度の大きさ？)
- ・堤防をかさ上げ？土地をかさ上げ？

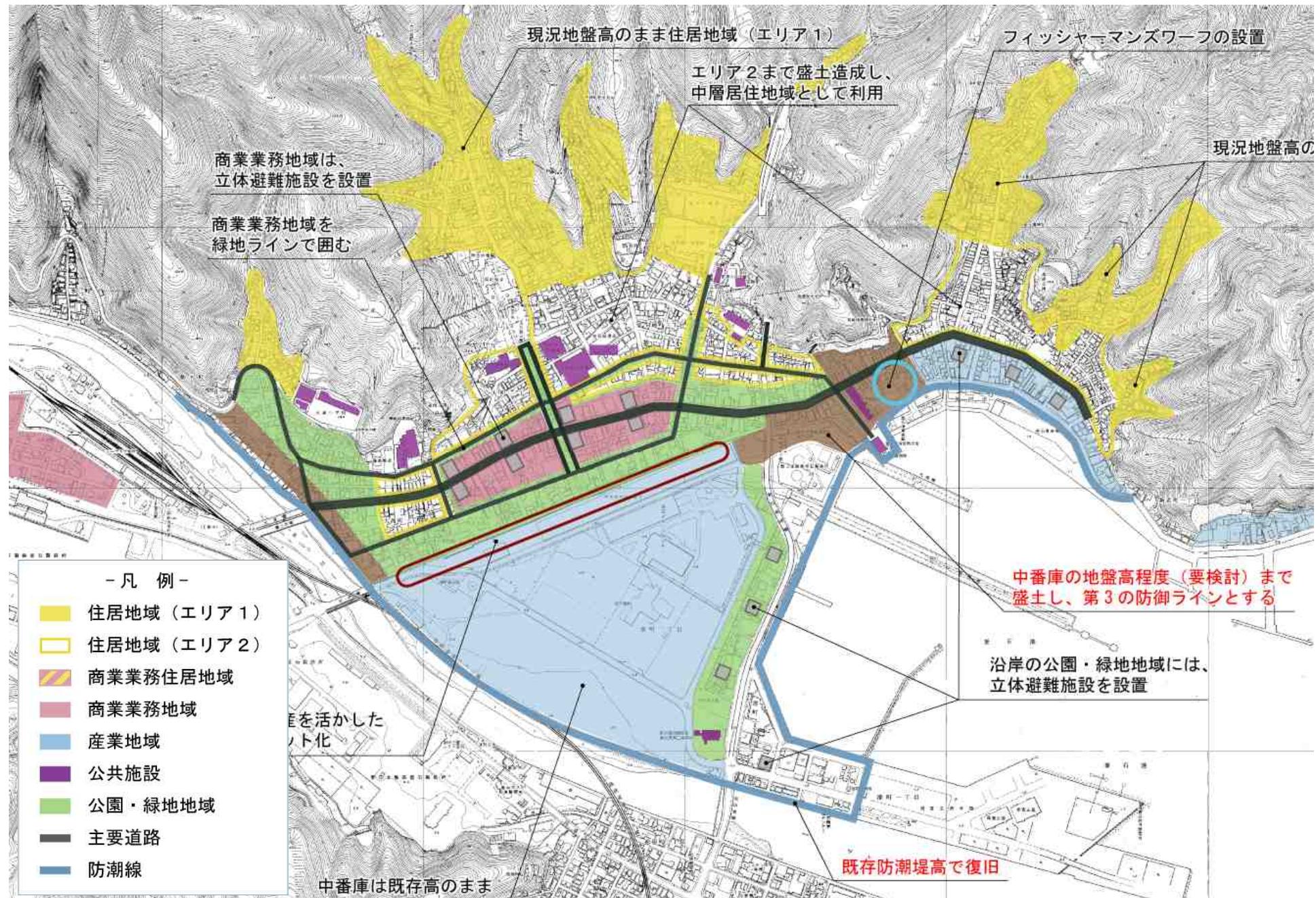






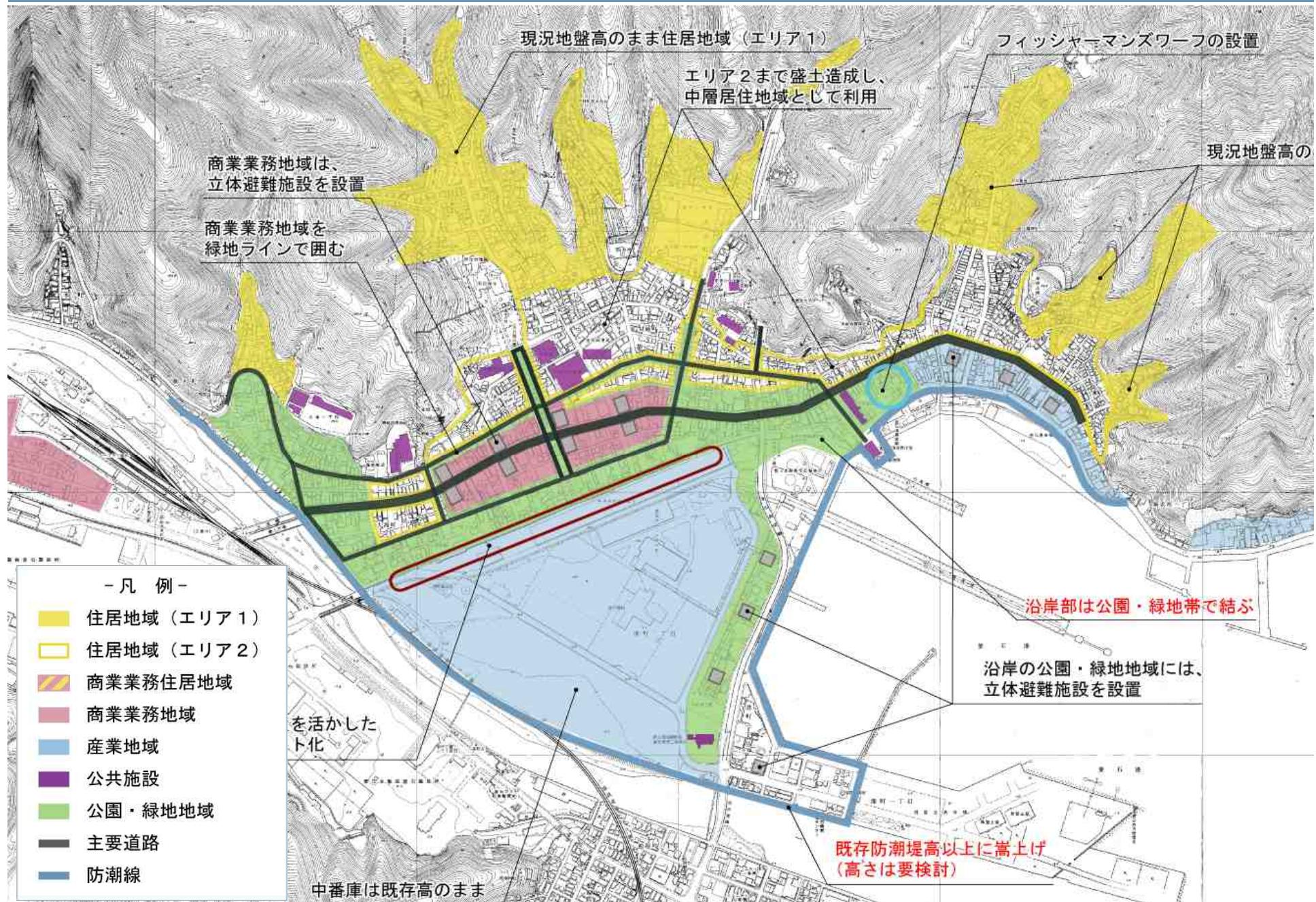
# 参考資料 - 多重防御案

24



# 参考資料 - 防潮堤嵩上げ案

25



# 参考資料 - 防潮堤現況復旧案

26

